

## 1/ キャリア通信を電子化しました

今回からキャリア通信を電子化し、Teams を使って配信していきます。そのためスマートフォンで読みやすいように縦長デザインに改訂しました。その他にも何か要望があればキャリア教育部まで伝えてください。



## 2/ 受験シーズン幕開け！推薦で選ばれるには…

総合型選抜の出願や専門学校<sup>※</sup>の推薦型選抜の出願が始まり、いよいよ受験シーズンの幕開けとなりました。校内でも9月28日（火）に第Ⅰ期推薦選考会議が行われ、卒業年次生が書類準備や面接練習に一生懸命取り組んでいます。学校推薦型選抜を受験するには、校内推薦選考に応募して、推薦にふさわしい生徒として選ばれなくてはなりません。以下に応募資格を示しておきますので、1・2年次のうちから出欠席・学習態度等、日頃の学校生活に気をつけて過ごしましょう。

### ☞ 推薦選考会議への応募資格（※一部省略しています）

指定校・公募推薦の選考の対象となるのは、次の各項をすべて満たした生徒とする。

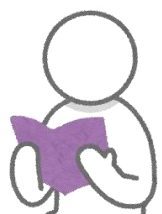
- 1 在学中を通じて、※ア 出席が良好であること。  
※ア 「出席が良好」の判断については、次の※イ 欠席日数を目安にしてください。  
○学校長推薦が得られる欠席日数の目安（1年次からの累積日数）  
〈指定校推薦〉 3年次は30日以内 4年次は40日以内  
〈公募制推薦〉 3年次は60日以内 4年次は80日以内
- 2 当該選考会議直前の成績会議において、卒業見込みが出ていること。
- 3 志望する学校における「推薦基準」（評定平均値、欠席日数、資格等）を満たしていること。
- 4 保護者印のある「推薦申込書・誓約書」と「申込用紙別紙」を提出していること。
- 5 志望先のオープンキャンパス等に参加し、「学校説明会等 参加報告書」を提出していること。
- 6 勉学意欲が高く、生活態度、身だしなみ等において模範となる生徒であること。

指定校の枠は限られており、他の人と競合になることがあるので、条件ギリギリの状態では枠をもらえない可能性が高いです。欠席・遅刻・早退をなくし、評定平均を上げ、意欲・態度・身だしなみをよく意識して生活しましょう。



## 3/ もうすぐ履修指導日！進路を見据えた履修計画を立てよう

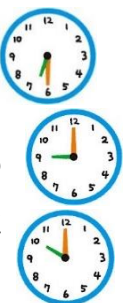
10月27日（水）は履修指導日です。履修科目の説明を受け、来年度の時間割を決めていきます。「進路はまだよくわかんない、とりあえず卒業できればいいや～、ラクな科目で埋めよう」などと考えている人は要注意！科目選択は進路と密接に結びついています。考えなしに履修を決めてしまうと、たとえば「推薦の出願資格に『物理基礎』が必須と書いてあるのに履修していなかった！受験できない！」「受験科目に数学Ⅱがあるのに履修していない！独学はきついからこの大学は諦めるしかない…」などということになってしまいます。自分の進路について、進学なら学部・学科、志望校、受験方法、就職なら職種、試験内容などの具体的なイメージを持ち、そのために必要な科目を明確化しておきましょう。



☞ 第一志望の〇〇大学を学校推薦型選抜で受験したい！推薦の出願資格に「数学Ⅱ」とあるから、忘れずに履修しよう。小論文試験があるから、「小論文」も履修しよう。一般受験の試験科目が、数学・英語・生物となっているから、推薦で失敗した時のために、生物演習も履修しよう。でも、推薦の出願資格に「評定平均4.0以上」とあるから、難しい演習科目で苦勞して評定が下がらないように努力しなきゃ！

## 4/ 一般選抜型受験に向けて頑張っている皆さんへ

行事などが一段落した秋ごろは学習に集中しやすく、「現役生が伸びる時期」と言われています。そんな中、「猛烈に勉強する日」と「全く勉強しない日」が分かれてしまっている人はいませんか？粘り強く最後まで学習に取り組むには、規則正しい生活リズムが欠かせません。特に、起床・学習開始・就寝時間の1日の3つの節目を固定することで、安定した学習量が確保できます。時間を決めてアラームをセットする、実行できた時間をアプリに毎日記録するなどして、規則正しいリズム作りを実行していきましょう。



## 5/ 公務員講習会 参加者募集中です

公務員試験の受験を希望する生徒に向けて、外部講師による無料の公務員講習会を月1回程度、金曜日に行っています。令和4年度受験希望者に向けた新規募集が始まっていますので、希望者はキャリア教育部まで申し出てください。日程などの詳しい情報はキャリア教育部のホワイトボードに掲示しています。

